

稲作だよい

第 11 号
登熟期編

令和5年8月 28 日発行
山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト
最上地域本部
最上総合支庁農業技術普及課
Tel 29-1329 (稲作担当)

刈取適期は早まる！早めの準備を 完全落水は出穂 30 日以降で

<出穂期、穂揃期の状況>

作柄診断圃における出穂期は、平年並～2日早くなりました(表1)。

総粒数は、「雪若丸」以外では、平年並～少ない状況であり、収量確保のため、出穂後 30 日まで適切な水管理を行い、最後まで登熟させることが重要です。

表1 作柄診断圃における本年の出穂期と穂揃期生育

品種 地域	年次	出穂期 (月日)	止葉葉数 (枚)	穂数 (本/㎡)	一穂粒数 (粒/本)	総粒数 (百粒/㎡)	葉色 (SPAD)
はえぬき 新庄市泉田	本年	8/4	12.5	452	63.9	289	36.9
	特A指標	8/6	-	450	64.0	290	-
	指標比	-2	-	100	100	100	-
つや姫 舟形町富田	本年	8/9	12.9	457	61.2	280	31.0
	平年	8/10	12.8	474	67.0	317	31.3
	平年比	-1	+0.1	96	91	88	-0.3
雪若丸 新庄市泉田	本年	8/7	12.7	587	61.6	362	34.6
	平年	8/7	12.5	577	55.1	317	34.9
	平年比	±0	+0.2	102	112	114	-0.3
あきたこまち 最上町向町	本年	8/1	12.8	486	66.4	323	35.8
	平年	8/2	12.6	497	70.4	350	37.9
	平年比	-1	+0.2	98	94	92	-2.1

<高温登熟による品質低下注意！>

白未熟粒は出穂後 20 日間の平均気温が 26~27°Cを超えると発生が著しくなり、胴割粒は出穂後 10 日間の最高気温が高いほど発生しやすくなります。今年は出穂期が早く、その後も高温で推移したことにより、白未熟粒・胴割粒の発生が懸念されます。

高温登熟障害を抑えるためには、飽水管理等により登熟後半まで土壌が湿った状態を維持し、根の活力を高めることが大切です。今一度圃場の入水状況の確認を行いましょう。

表2 出穂後の気温

出穂期	出穂後 20 日間 平均気温	出穂後 10 日間 最高気温
7/25	27.9	34.0
7/30	28.3	34.5
8/5	28.9	33.9
8/10	28.0	33.7
8/15	26.6	35.7

※新庄アメダスデータを使用
(~8/24：本年実況値、8/25～：平年値)

<刈取適期は早まる！>

出穂後、高温多照で経過したことと、総籾数が平年並～やや少ないことから、登熟は順調に進んでおり、8/21 現在の出穂後積算気温に対する登熟歩合は、例年より高く（図 1）、刈取適期は例年より早まると予想されます。

登熟期の高温によって、刈取適期が例年に比べ早まっています。刈遅れると茶米や胴割粒が増加して品質が低下しやすいため、出穂後積算気温(表 2)を目安にして、適期内に刈取が終われるよう、刈取りの準備と計画を立てましょう。

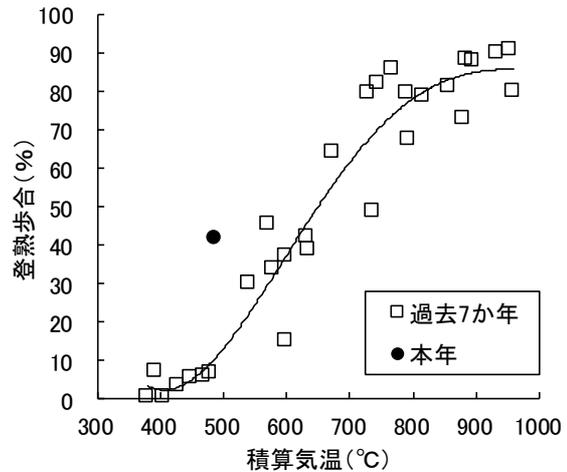


図1 作柄診断圃「はえぬき」の登熟歩合と積算気温との関係

表2 出穂後積算気温による刈取適期の目安

アメダス※1 地点	品種名 (出穂期)	刈取適期となる 出穂後積算気温※2		刈取適期の 目安日		刈始めの 青籾歩合 (%)
		始	終	始	終	
新庄	はえぬき (8/4)	900	1,150	9/6	9/15	20
	雪若丸 (8/7)	950	1,200	9/11	9/23	15~20
	つや姫 (8/9)	950	1,150	9/14	9/23	15
向町	あきたこまち (8/1)	950	1,100	9/6	9/12	15

※1：アメダスデータの日平均気温（8/27まで本年値、以降予測値から算出。

※2：「はえぬき」「つや姫」は高温登熟年のため、積算気温で50℃分適期を前倒しする。

圃場ごとの出穂期や今後の気象経過によって、刈取適期の目安日は前後します。刈取りの判断は、青籾歩合や籾水分、倒伏程度等から、総合的に行いましょう。出穂日別の刈取適期の目安は次号「刈取推進編」をご確認ください。

令和5年秋の農作業安全運動が始まります

(9月1日～10月31日)

- ・機械作業時は補助作業者の位置と合図を確認しましょう
- ・機械の点検はエンジンを止めてから！